

支援プログラム

事業所名

児童デイサービスはぴてい

(児童発達支援)

作成日 令和7年2月14日

法人（事業所）理念		障がいのある人もない人も安心して暮らしていけるような社会を作っていく 「この子が主役」であるために専門性をもって一人ひとりの個性を尊重する
支援方針		障害児への日常生活における基本動作の支援、身辺自立の支援、生活の質の向上などを図ることができる よう、障害児の心身その他の状況及びその置かれている環境に応じて、機能訓練、身体機能に関する相談・ アドバイス、個別活動を行う
営業時間	平日等（通常登園日） 9時から18時まで 休日等（土曜・祝日等） 8時30分から17時30分まで	送迎実施の有無 有：家族希望に事業所の運行都合が合った場合、家庭や保育園等を実施する
	項目 支援内容	
本人支援	健康 生活	◆健康状態の観察、基本的な生活スキルの習得、日常生活動作獲得を支援します。 □排泄介助、食事介助、整容動作など
	運動 感覚	◆様々な感覚刺激により発達を促し、望ましい姿勢や運動の獲得を支援します。 □臥位、座位や立位での運動面の訓練など
	認知 行動	◆感じることや行動する経験を通して、自分と他者や物の概念を深め注意力・判断力を育みます。 □楽しみや興味を活かした活動・訓練など
	言語 コミュニケーション	◆他者とのやりとりにおける可能性を広げ、安心して過ごせることができる関係づくりを支援します。 □読み聞かせ、言葉遊び、絵カード、マカトンサインを活用したコミュニケーションなど
	人間関係 社会性	◆遊びや活動などを通して、挨拶や役割、ルールを守るなどの社会性を育みます。 □対職員や児童同士の関わり支援など
家族支援	◆発達の基盤となる家族関係や家庭生活を安定・充実できるように支援します。	
移行支援	◆就学に向けて、関係機関との情報共有、会議を行います。	
地域支援 地域連携	◆生活全般に関する保健・医療・福祉・教育等の関係機関とともに、本人主体な連携を行います。	
職員の 質向上	虐待・身体拘束防止 人権擁護 感染対策 ガイドラインの理解 障害の理解（肢体不自由 発達障害 神経筋疾患） 災害BCP 腰痛対策	
主な 行事等	避難訓練 誕生会 収穫祭 クリスマス会 肝試し会 流しそうめん会 おやつ作り（ケーキ、クッキー、ピザ、ホットサンド、お好み焼き、冷やし中華、おでん、等）	